

I. 活動成果及び今後の課題

(注) 各項目の記述には必要な分量のスペースを使ってください。

(1) 活動成果

公演を終えてみて、演奏される機会がなかなかなかった作品を演奏した事により、社会一般に広められたのではないかと思いました。團伊玖磨、黛敏郎、芥川也寸志、伊福部昭の優れた大編成の作品を、演奏しやすい絃楽オーケストラ編成にしたので、今後の演奏会のプログラムに組み込まれやすくなり、これらの作品が後世に繋がっていくきっかけを作ることができたと考えています。また、日本の若手演奏家の第一人者である佐藤久成氏のヴィトウオーノ的な演奏にたいする、聴衆の反響は大変に大きく、これらの作品の価値がより高められた事を、会場の皆様と共に感じる事が出来ました。そして、運搬が大変なチェンバロを、より本物の音を追求するために、準備をしました。その結果、音色がとても良くなつたので、團伊玖磨作品は、聴衆からもとても高い評価を得ました。助川敏弥作曲による遺作（世界初演）は、名曲であると多くの聴衆から好評を得ました。さらに遺族の方からも「素晴らしい演奏で聴くことができた。」との評価を頂きました。今後も、日本人作曲家による音楽作品が演奏される機会を増やす企画を行い、活動を続けたいと考えています。そして今回助成を受けることができまして、とても意義深い活動が実現することができたと思います。今後も何卒宜しくお願ひ致します。

(2) 今後の課題

今回得た反響の中に「邦人作曲家に興味を持ったので色々な作品を聴いてみたい」という声がありました。その声を生かすためにも、継続的な活動が必要であると感じました。これからも日々、技術の向上を怠らず努力をし、様々な作品を調べて勉強していく所存です。そして、より充実した公演となるよう、企画をしっかりと行い、日本人作曲家の作品を周知させるべく、告知宣伝もより活発にしていきたいと思っています。活動を続けて行く為には、集客を増やす必要がありますので、様々な媒体を駆使し、特にインターネットを利用して、若者たちにも周知させたいと思いました。多くの老若男女に公演内容を周知させることは、重大な研究課題でありますので、今後試行錯誤をしながら改善していきたいと考えています。これからも日本人作曲家の作品を掘り起こし、日本の音楽の文化的遺産を継承し、発展させて行く為に努力を続けたいと考えています。

II. 支出報告 (使途、数量等を具体的に摘要欄に記入して下さい)

費 用	金 額	摘 要
(1) 会 場 費	44,300円	会場費用
	48,600 円	2日間、リハーサル会場費用 (32,400円+16,200円)
	6,480円	リハーサル2日間、ピアノ利用料 (3,240円×2日分)
(2) 印 刷 製 本 費		編曲・楽譜作成料・楽譜郵送料 (スリーシェルズマネジメント料内)
		広告・印刷宣伝費 (スリーシェルズマネジメント料内)
(3) 旅 費 交 通 費		楽器運搬・交通費 (スリーシェルズマネジメント料内)
(4) 謝 金		楽団雇用・指揮者・ソリスト (スリーシェルズマネジメント料内)
		プログラム制作・作品解説・執筆料 (スリーシェルズマネジメント料内)
		舞台スタッフ・受付スタッフ (スリーシェルズマネジメント料内)
(5) そ の 他		録音費 (スリーシェルズマネジメント料内)
		楽器借用代 (スリーシェルズマネジメント料内)
		スリーシェルズコンサートマネジメント内金
		スリーシェルズコンサートマネジメント料追加料
合 計	2,430,000円	

※上記に記載された支出の事実が分かる領収証のコピーを添付してください。

活動記録写真



團伊玖磨

(1924年～2001年)

2つのソロ・ヴァイオリンと弦楽

合奏のための

「古雅なるファンタジア」

【指揮】

水戸博之

【ソロヴァイオリン】

佐藤久成、三宅政弘

【チェンバロ】

本間みち代



助川敏弥

(1930年～2015年)

遺作より 夜の雨 (初演)

【指揮】

水戸博之



黛敏郎

(1929年～1997年)

G線上のアリア

(弦楽編曲版)

【指揮】

水戸博之

【ソロヴァイオリン】

佐藤久成



芥川也寸志
(1925年～1989年)
GX1 コンチェルト
(弦楽編曲版)

【指揮】
水戸博之
【ソロエレクトーン】
竹蓋彩花



伊福部昭
(1914年～2006年)
ヴァイオリン協奏曲第2番
(弦楽編曲版)

【指揮】
水戸博之
【ソロヴァイオリン】
佐藤久成